

# ユニセフのつどい 2025 開催報告

1. 日 時 2025年4月2日(火) 10:30~12:00
2. 場 所 青森市民ホールリンクモア平安閣 1階会議室
3. 参加人数 64名 :メイン会場24名 視聴40名 ※ ( ) はオンライン

青森県民生協	5 (1)	青森県庁生協	1 (1)	講師	1
コープあおもり	51 (38)	弘大生協	2 (2)	県生協連・地連	5

## 4. スケジュール

- テーマ：学んで、感じて、広げよう！
- スケジュール

10:00~10:05	開会
10:05~11:30	学びの時間 講師：(公財)日本ユニセフ協会 団体・企業事業部 石尾 匠氏
11:30~11:55	おしゃべりの時間：子どもたちや若者と一緒に取り組むには？
11:55~12:00	石尾さんへの感謝状贈呈 県生協連 会長 菅原 正

## 5. 概要

### 学習講演

日本ユニセフ協会の石尾匠氏より下記のテーマにそってお話しいただきました。

#### (1) ユニセフの概要

ユニセフの活動内容、募金の使われ方と種類、青森県生協連の募金総額（2004年から2024年の20年間で）が2,835万円となっていることとお話しいただきました。ユニセフハウスがリニューアルオープンして映像や現地の再現など世界の子どもたちの置かれている状況が体感できますので、是非お越しください。



#### (2) ガザ人道危機への緊急支援

2023年10月大規模な紛争の勃発以来、ガザ地区では190万人の住人が劣悪な環境での避難生活を強いられ、4万2600人以上の尊い命が奪われその4割が子どもたちです。ユニセフは即時停戦を求め、緊急支援物資を配備するなど命を守る支援活動を続けていますが、目標に対してはまだ到達していません。64の生協・連合会から1億4132万円の募金の協力をいただきました。世界では、気候変動やコロナ禍による経済危機によって食料不安、栄養不良が拡大し、人道危機も多発し長期化しており、ユニセフによる支援が必要な状況です。引き続き、ご協力をお願いします。

#### (3) 東ティモール指定募金保健栄養プログラム活動報告

SDGs目標3のターゲットは、「すべての国で、生まれて28日以内に命を失う赤ちゃんの数を、1,000あたり12人以下まで、5才までに命を失う子どもの数を25人まで減らし、2030年までに、赤ちゃんやおさない子どもが、予防できる原因で命を失う事がないようにする」となっていますが、東ティモールでは新生児死亡率が1,000人中22人、5歳未満児死亡率が1,000人中49人でその原因の多くは栄養不足です。

ユニセフでは、子どもたちの保健・栄養の支援のため、妊娠期から 1000 日の取り組みのための「新生児と母親のための保健ケアの改善プロジェクト」をエルメラ県・ビケケ県・バウカウ県で推進してきました。(第 1～3 ターム: 2015 年 7 月～2024 年 6 月)

①医師・保健員の育成では 1,086 人が研修を修了、学んだ技術と設備が生きています

②小児用医療機器の提供では 13 種類 4641 セットを病院や保健センターに提供し、母子保健サービスの質が向上しました。

③母親グループの研修では、5,280 人が受講し、妊産婦や村人への乳幼児の栄養改善についての指導者となっています。第 4 ターム (2024 年 7 月～2026 年 6 月) では、アイレウ県とラウテン県での支援が始まっています。東ティモール関連グッズ・支援物資の貸し出しを活用して取り組みをお知らせし、支援を広げてください。

#### (4) 東ティモールスタディツアー

2024 年 9 月 29 日 (日)～10 月 6 日 (日) に、各生協の代表 4 名の参加でスタディツアーを実施しました。首都ディリにあるユニセフ東ティモール事務所には 64 名の職員 (国際職員 9 名、現地職員 55 名) がおり、最初に事務所の業務について説明を受け、その後支援対象地域のバウカウ県・ビケケ県に車で移動しました。保健センターにはユニセフが支援した小児医療機器が配置されており、看護師さんから「コロナ禍での感染症予防の研修が役にたった」、「医療機器のおかげで産後のケアが効率的にできるようになった」との感謝の言葉をいただきました。また、地域で活躍する母親支援グループの皆さんとも交流することができました。支援の内容と保険ケアの改善状況を確認いただく為、是非スタディツアーに代表を派遣してください。

長年生協をご担当いただいた石尾さんのご異動に際し、菅原会長が感謝状を贈呈しました。

## 6. 感想より

- ・ガザ地区の現状を知り、少年の動画に心が痛みました。1 日でも早く紛争が終わり、元の生活に戻れるよう願うばかりです。
- ・東ティモールの現状を改めて知ることができました。栄養不足により命を失う子供たちが 1 人でも多く減らしていけるよう 1 人 1 人の支援が大切であると思います。日々の何気ない行動 (残食など) が無いよう、物を大切にしていきたいと思います。そして、ユニセフの活動に積極的に参加していきたいと思います。
- ・緊急支援物資がこれまで通り継続的に支援ができることを強く望みました。東ティモールに限らず世界で苦しむ生活を強いられる人々の様子は、今日のように学習しないと深く知ることはできないので良い機会を与えられたと思いました。
- ・私達に出来る事は募金をする事、より多くの募金をしていただく為に何が出来るか? 又何をすべきか、考えてみます。ユニセフに対する認知度はだいぶ定着していると思いますが、もう少し現況をお伝えする場が増えればと思います。
- ・今年もがんばります。石尾さん、お世話になりました。ありがとうございました。



おしゃべりタイム